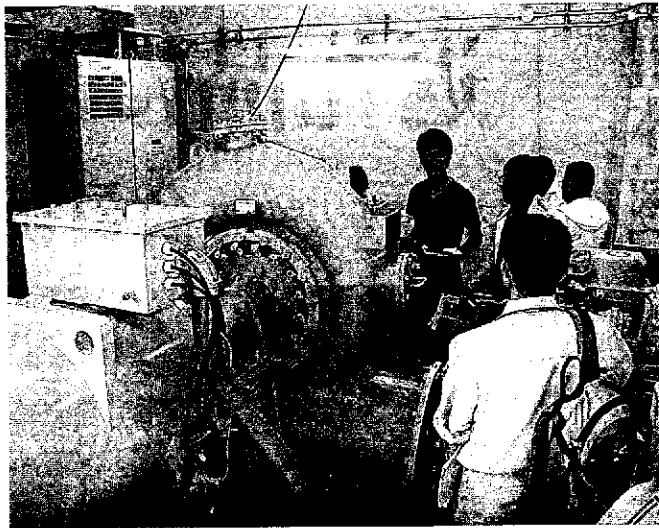


**白馬・小谷**  
ニュース

# 小水力発電で地域活性化

## 白馬で県キヤラバン隊が講習会



発電施設の見学

県の「小水力発電キヤラバン隊」は14日、適地選定講習会を白馬村の白馬平川小水力発電所で開いた。県内を主に、小水力発電の導入を考ふる自治体や土地改良区、民間団体など約30人が参加。自然エネルギーを有効活用し地域活性化につなぐ実例を学んだ。

県の「小水力発電0.5キロワットで発電。全量を売電し、村内の農業施設の管理などに充当している。東日本大震災に関連したエネルギー政策の見直しを受けて、県が平成24年度に新規モデル事業として着手、27年4月から発電している。事業費は3億5000万円。水利権は県が持ち、白馬村土地改良区が施設管理者となっている。

講習会では施設見学や、適地を見定めるために必要な使用水量や、最大出力184分の有効落差を用い、最大出力18

落差の簡易的な調査方法、事業費の算出などについて、県の関連部署や団体が説明した。同隊は県内の豊富な水資源と高低差を用いた小水力発電事業を地域経済の活性化に結び付ける「地域主導型」の事業モデルを普及・推進するため、県庁各部署や関係機関が連携し、事業者の具体的支援に取り組む。



## 力自慢集まり奉納相撲

### 小谷 土谷諏訪神社で例祭

小谷村土谷の土谷諏訪神社の例祭がこのほど行われ、奉納相撲やかつての村の青年団の間で行われた「八木節踊りの演芸などで盛り上がった。

奉納相撲大会は、地元若者らの交流を深めることなどを目的に、村内多くの地区の本祭りで盛んに開かれていた。30年前までは、たの行司のかけ声とともに、参加者は熱の

## 隣接地の買収めざす

### 白馬高寮整備問題で答弁

小谷村議会

小谷村の松本久志 法政大学セミナーハ

受け入れが厳しい状態だ。学校側は国際観光科に20人ほどの県外生確保を目指しており、皿の整備が喫緊の課題となっ

えを示し、ABCの3案で検討したと答えた。

▽A案は既存寮に隣接する法政大セミナーハウスを借用・買

対効果に課題があり、C案は9月以降の発注で間に合わせることに厳しいことから、A案の実現に向け大が掛かる見通し

9月15日(木曜日) 大系タイムス

本まぐろフェア

サトウハシケン

sato HYSÉAC HEALTHCARE INNOVATION

紫外線A波・B波を